

鳥取県国民健康保険
保健事業実施計画（県データヘルス計画）

別 冊

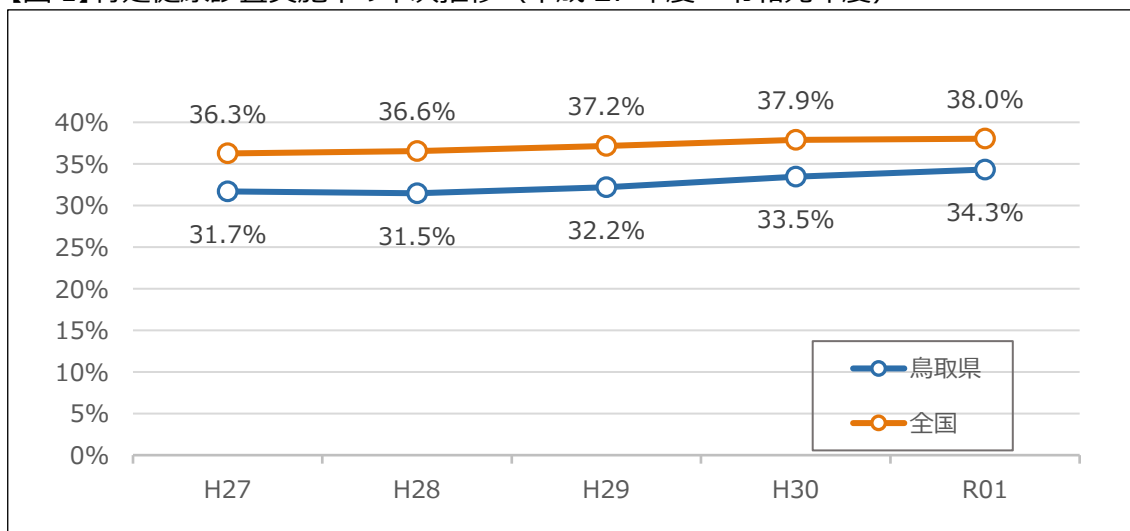
目 次

1. 健康づくりに関する現状について	1
① 特定健康診査及び特定保健指導について	1
② がんについて	6
③ 運動習慣について	7
④ 歯・口腔について	9
⑤ 食塩摂取について	1 1
⑥ たばこについて	1 2
⑦ 飲酒について	1 3
⑧ こころの健康について	1 5
⑨ 介護について	1 6
⑩ ロコモティブシンドロームについて	1 7
2. 費用対効果分析	1 9
3. 疾病別医療費統計分析	2 2

1. 健康づくりに関する現状について

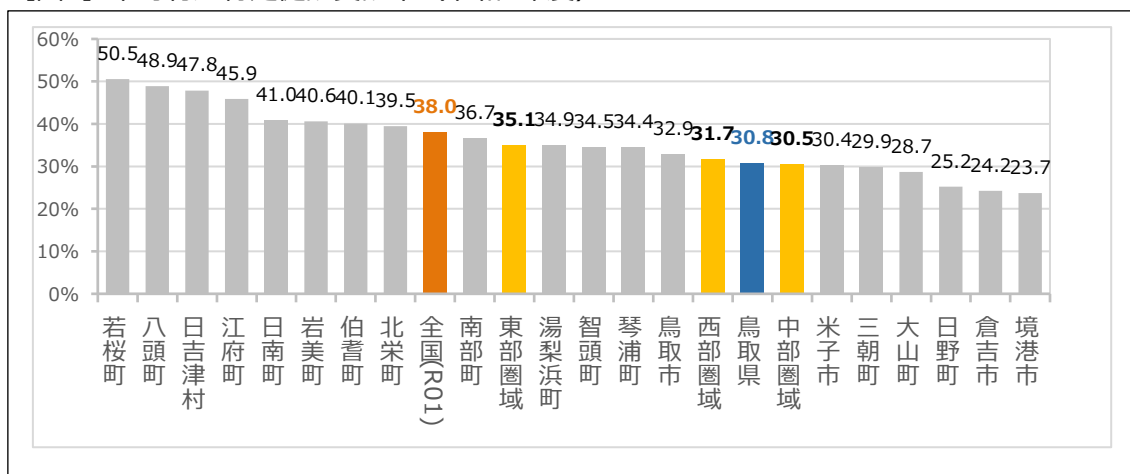
① 鳥取県の特健康診査及び特定保健指導について

【図1】特定健康診査実施率の年次推移（平成27年度～令和元年度）



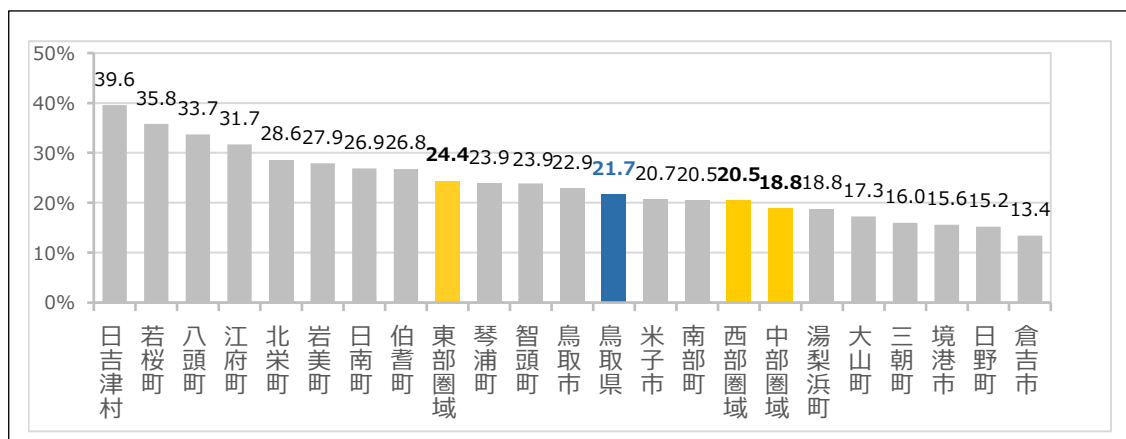
出典：「鳥取県の国保」

【図2】市町村別特定健診受診率（令和2年度）



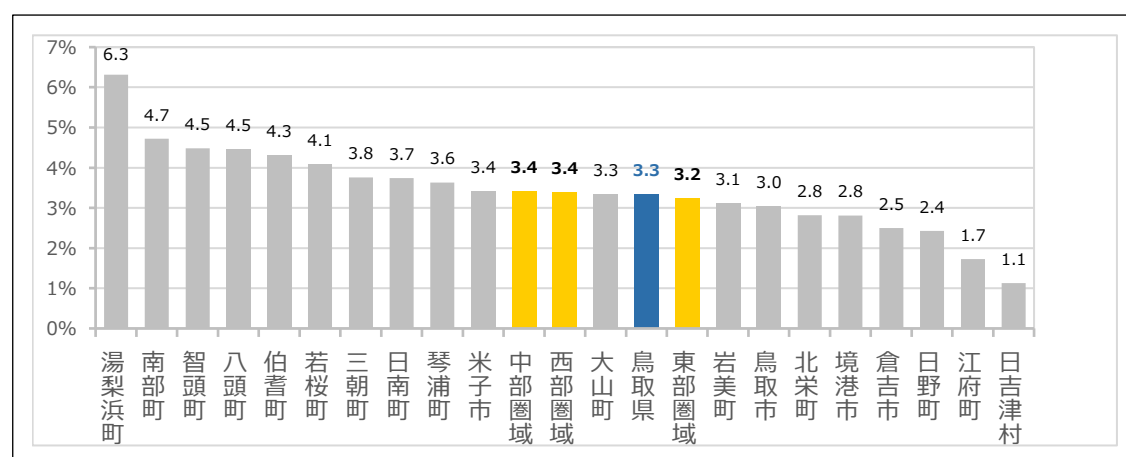
出典：「鳥取県の国保」

【図3】 特定健康診査 3年連続受診者（平成30年度～令和2年度）



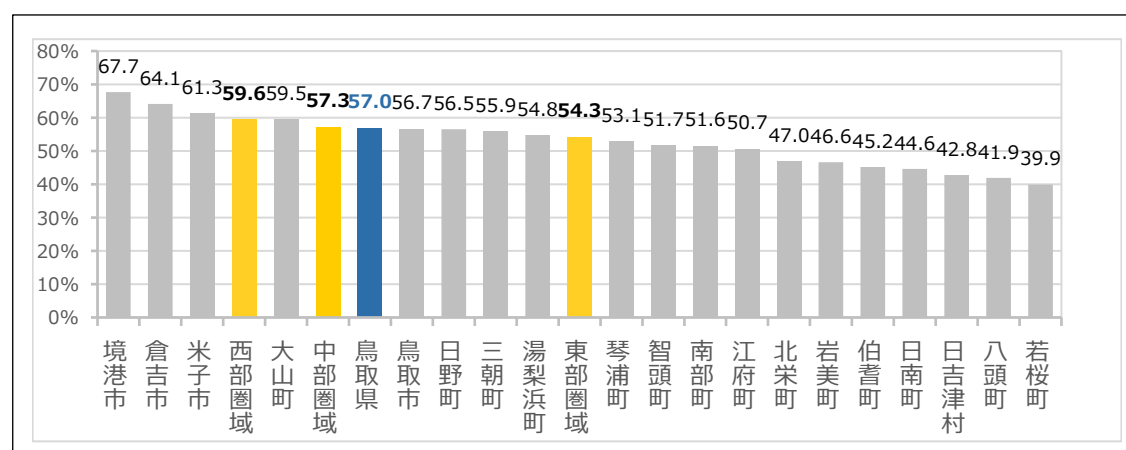
出典：「鳥取県の国保」

【図4】 特定健康診査新規受診者（平成30年度～令和2年度）



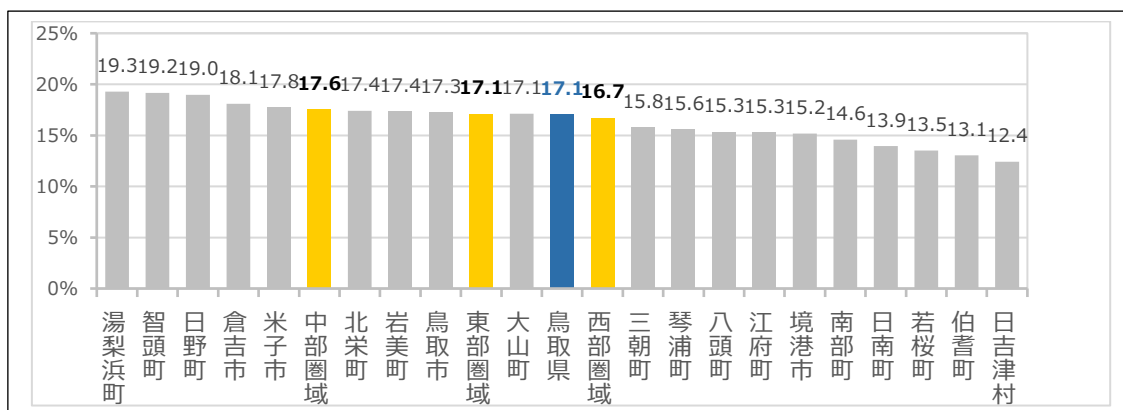
出典：「鳥取県の国保」

【図5】 特定健康診査 3年連続未受診者（平成30年度～令和2年度）



出典：「鳥取県の国保」

【図6】 特定健診未受診者かつ医療機関受診者（令和2年度）



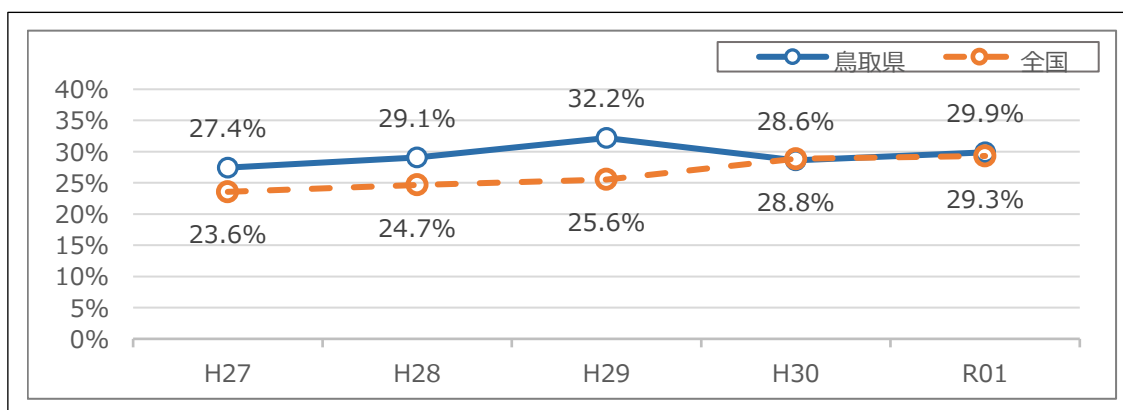
出典:「鳥取県の国保」

【表 1】 特定健康診査服薬者の割合（平成28年度～令和2年度）

年度	血圧		脂質		血糖	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H28	37.8%	31.3%	20.1%	30.4%	10.5%	5.2%
H29	38.5%	31.2%	20.8%	30.7%	10.7%	5.3%
H30	39.4%	31.7%	22.1%	31.2%	11.2%	5.4%
R01	40.7%	32.0%	22.4%	32.0%	11.6%	5.6%
R02	42.8%	34.0%	24.2%	34.3%	12.0%	6.4%

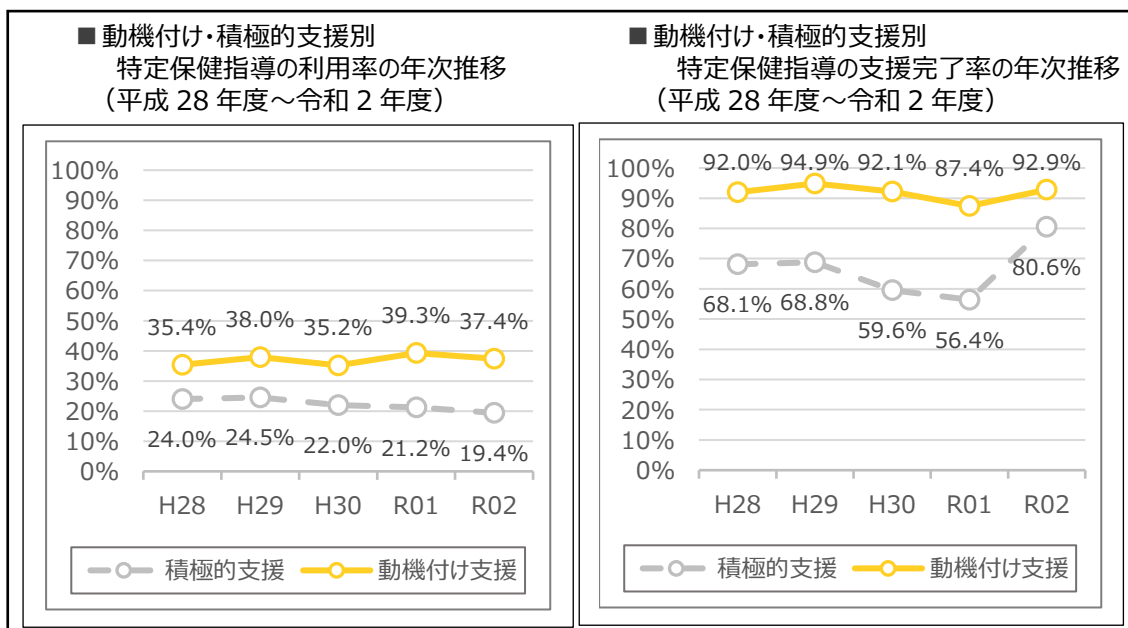
出典:「鳥取県の国保」

【図7】 特定保健指導実施率の年次推移（平成27年度～令和元年度）



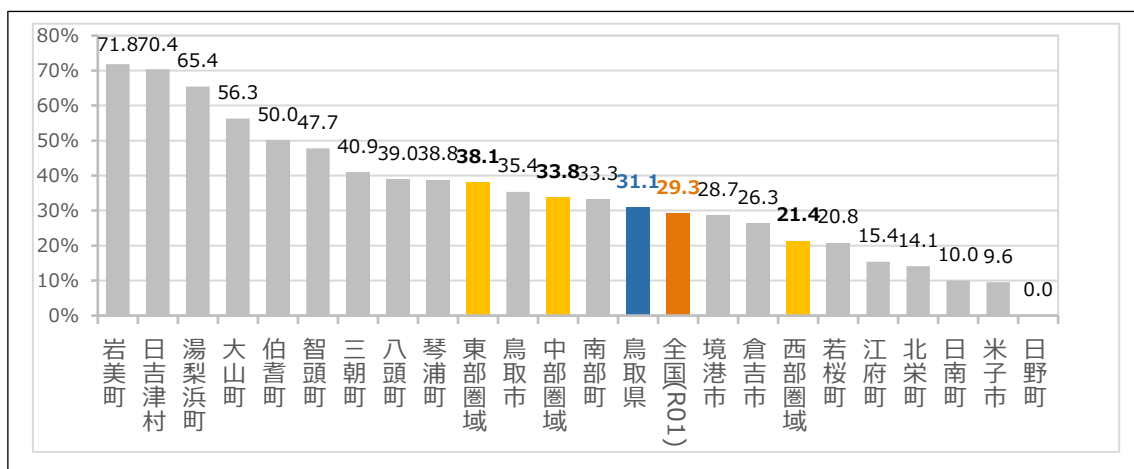
出典:「鳥取県の国保」

【図8】 特定保健指導の利用率及び支援完了率（平成28年度～令和2年度）



出典：「鳥取県の国保」

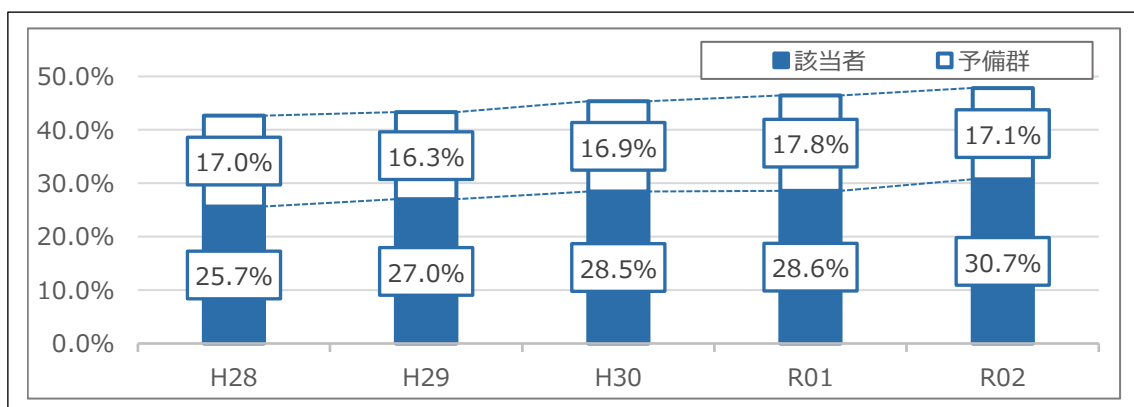
【図9】 市町村別特定保健指導実施率（令和2年度）



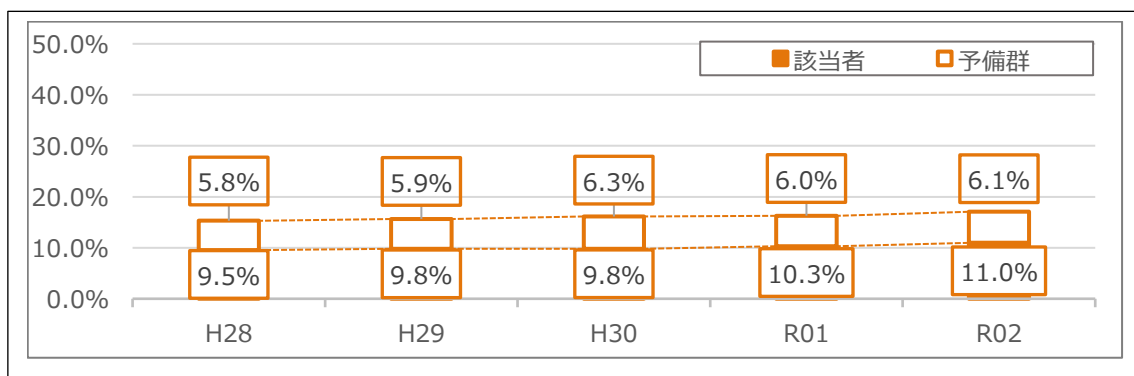
出典：「鳥取県の国保」

【図10】メタボリックシンドローム該当者及び予備軍割合（平成28年度～令和2年度）

【男性】



【女性】



出典：「鳥取県の国保」

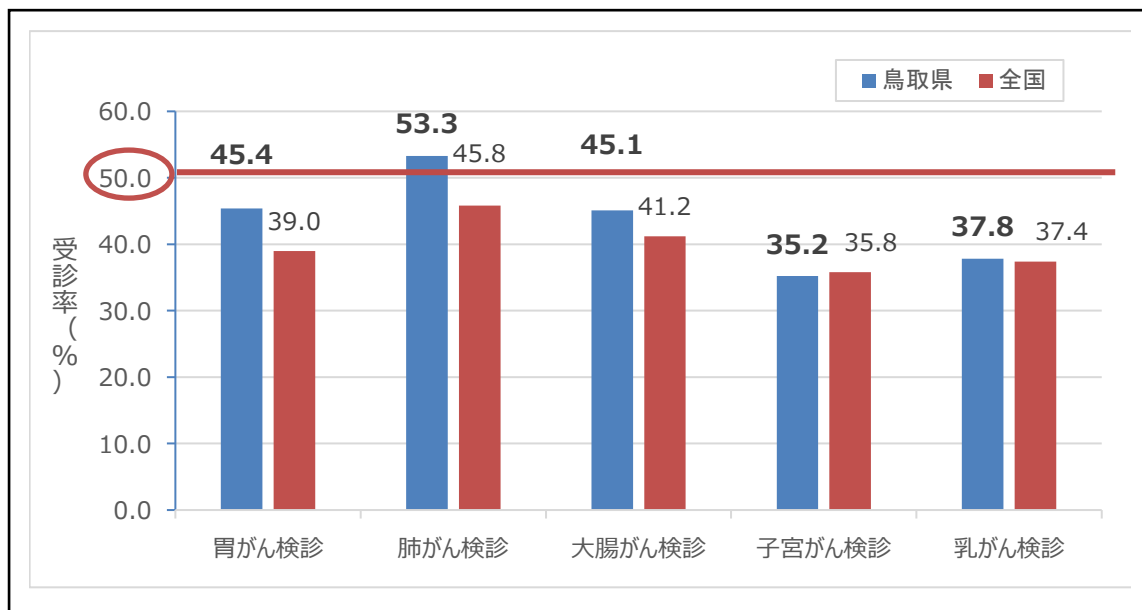
【表2】特定健康診査検査項目の有所見者割合（令和2年度）

■【男性】有所見者の状況			■【女性】有所見者の状況		
順位	検査項目	有所見者割合	順位	検査項目	有所見者割合
1	HbA1c	56.9%	1	LDL	58.4%
2	収縮期血圧	56.4%	2	HbA1c	56.2%
3	腹囲	52.1%	3	収縮期血圧	53.3%
4	空腹時血糖	49.2%	4	空腹時血糖	34.3%
5	LDL	47.8%	5	BMI	21.3%
6	BMI	29.8%	6	拡張期血圧	20.2%
7	拡張期血圧	29.0%	7	腹囲	18.5%
8	中性脂肪	25.3%	8	中性脂肪	15.4%
9	ALT(GPT)	23.3%	9	ALT(GPT)	10.4%
10	HDL	6.5%	10	HDL	1.2%
11	血清クレアチニン	2.0%	11	血清クレアチニン	0.2%
12	尿酸	1.1%	12	尿酸	0.2%

出典：「鳥取県の国保」

② がん検診受診率について

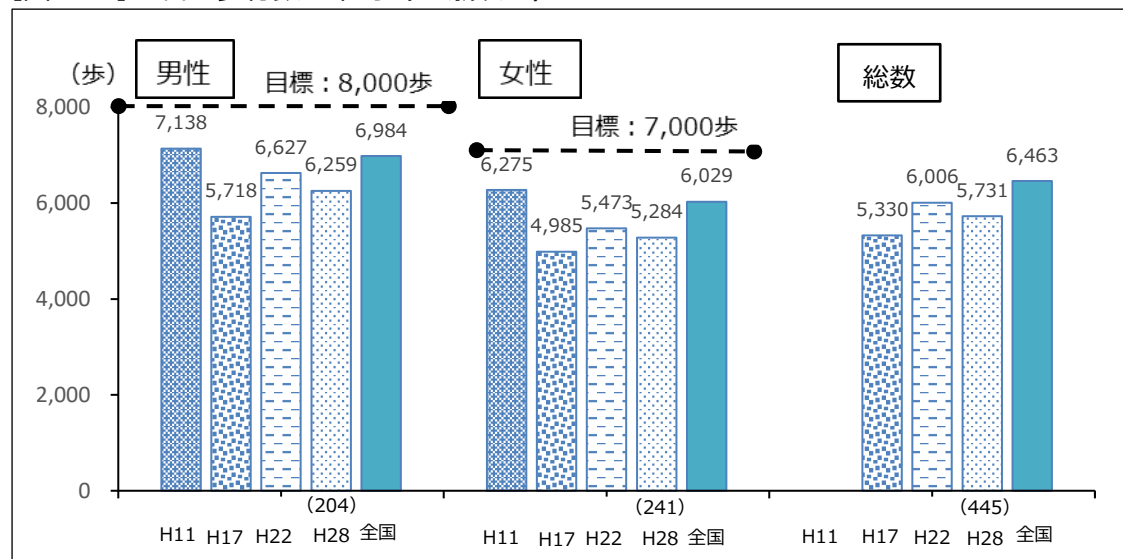
【図11】がん検診受診率の全国平均との比較（令和元年度）



出典：令和元年度国民生活基礎調査

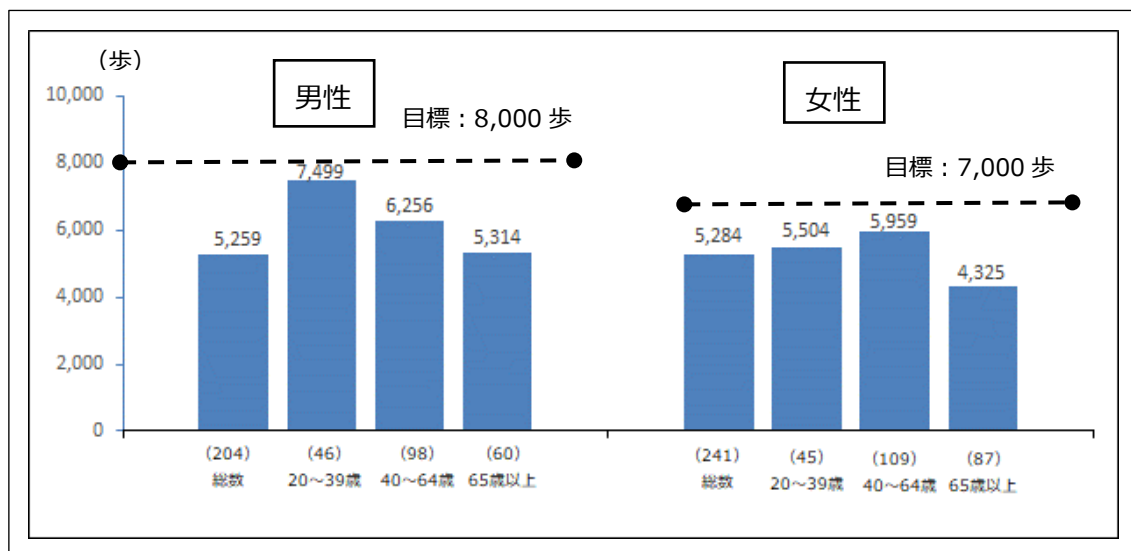
③ 運動習慣について

【図12-1】1日の歩行数の平均（20歳以上）



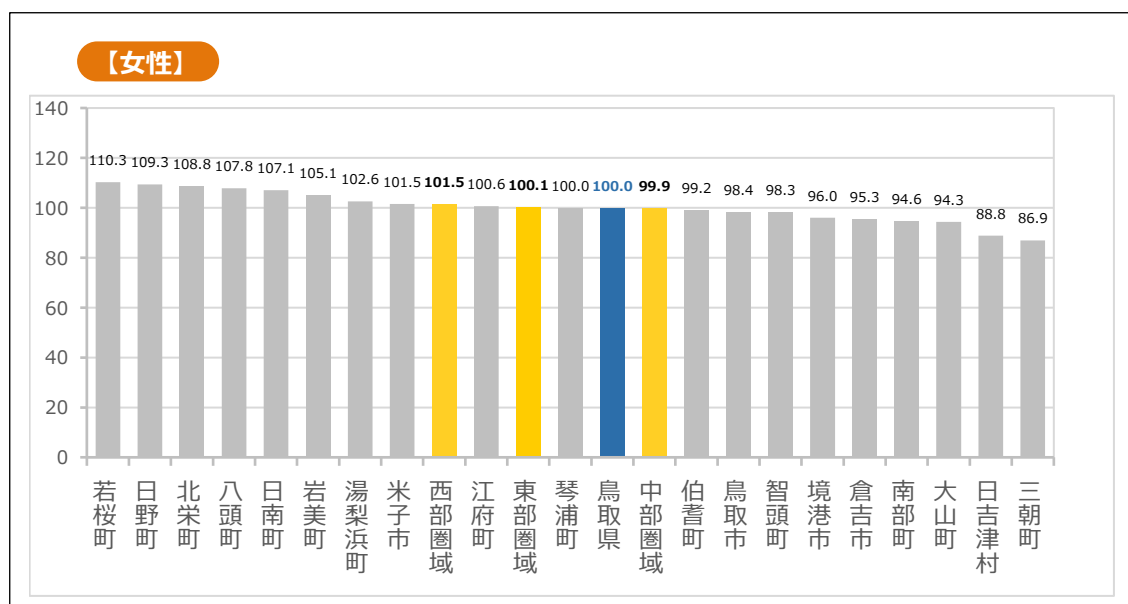
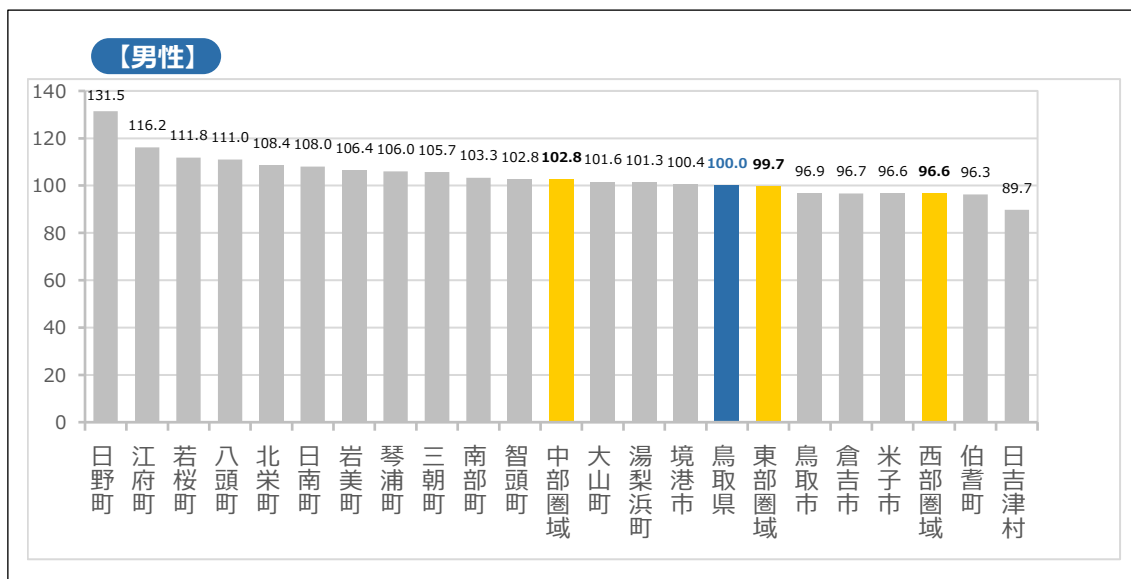
出典:平成 28 年度県民栄養調査

【図12-2】性・年齢別の歩行数（20歳以上）



出典:平成 28 年度県民栄養調査

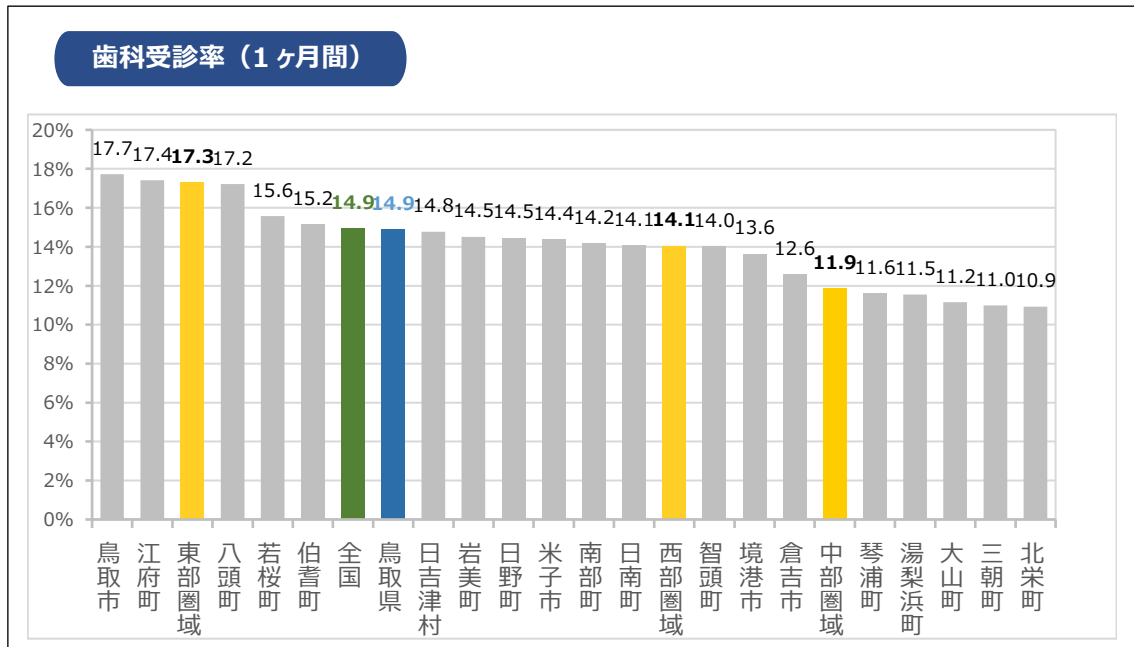
【図13】 特定健康診査質問票・運動習慣なしの割合と標準化比（令和2年度）



出典：「鳥取県の国保」

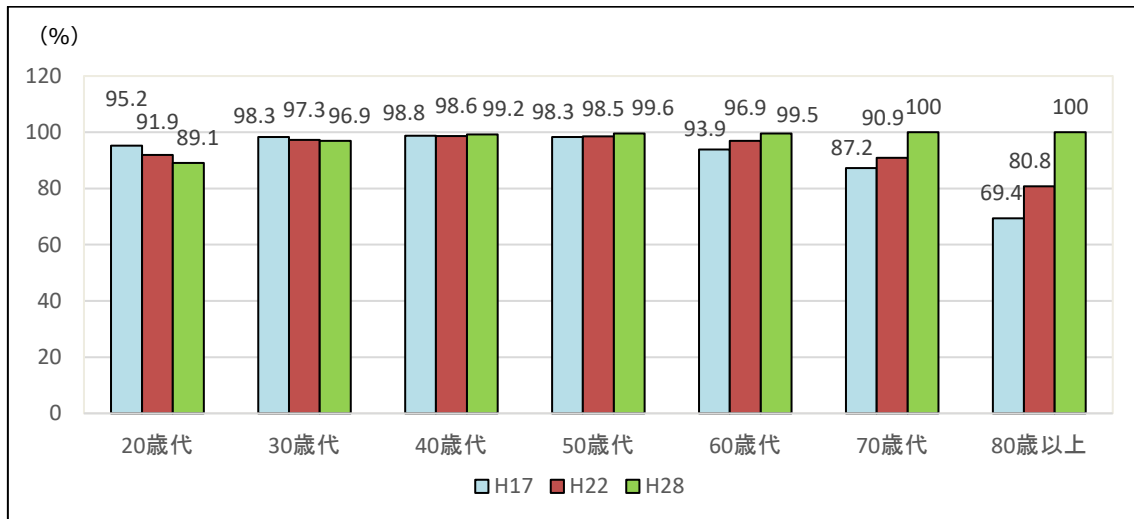
④ 歯・口腔について

【図14】 歯科の受診率（令和2年度）



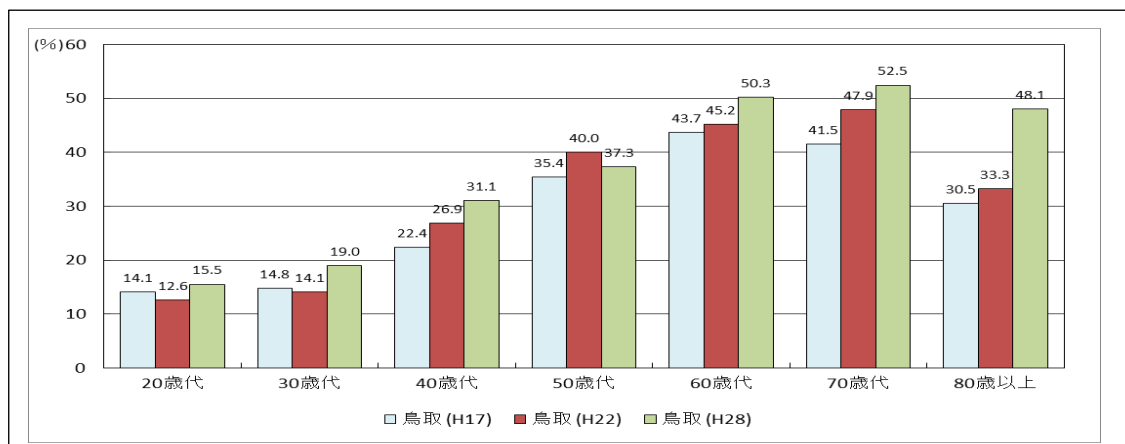
出典:「鳥取県の国保」

【図15】 むし歯有病者数



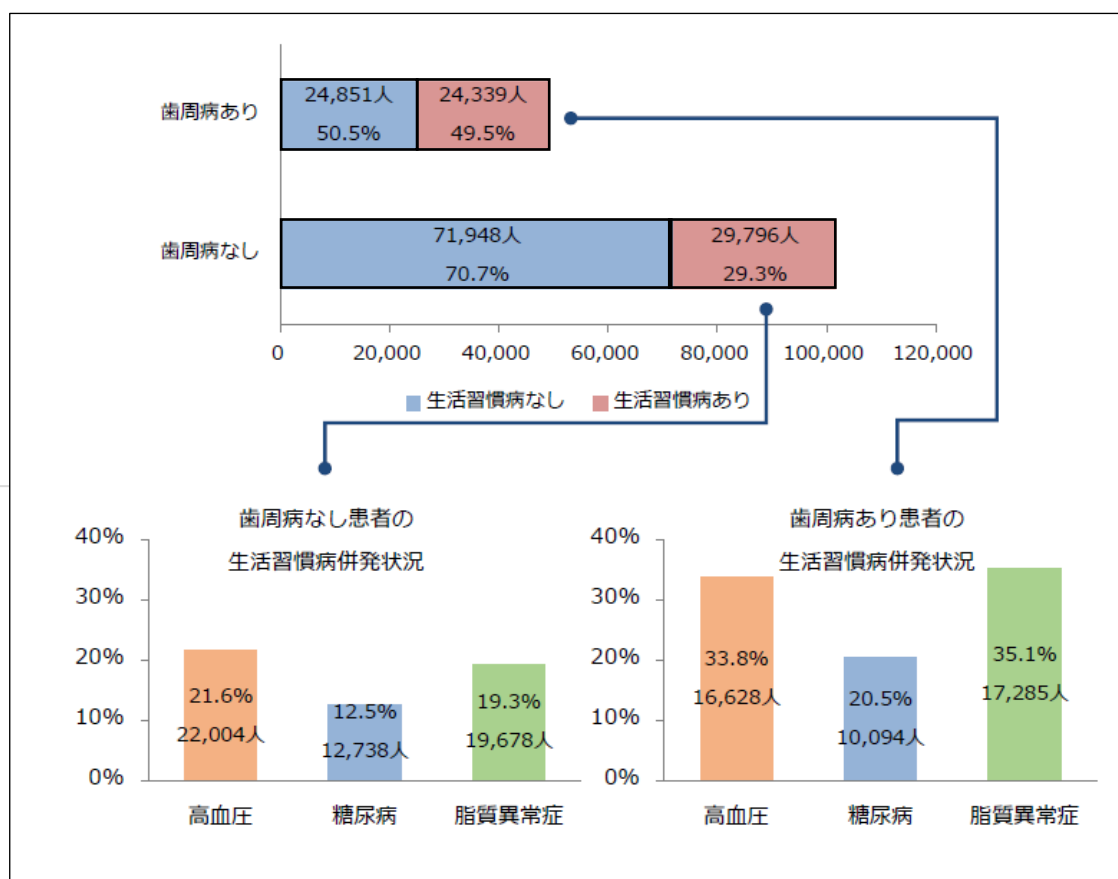
出典:平成28年度県民歯科疾患実態調査

【図16】 歯周病有病者の割合



出典:平成 28 年度県民歯科疾患実態調査

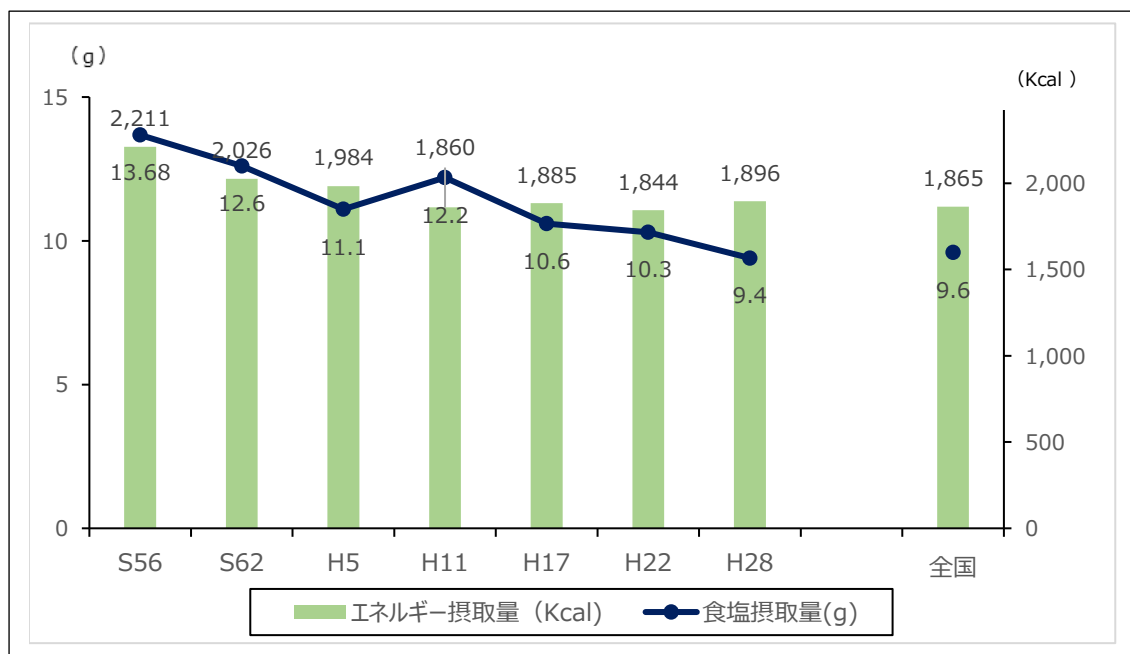
【図17】 歯周病と生活習慣病との関連性（令和元年度）



出典:日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」

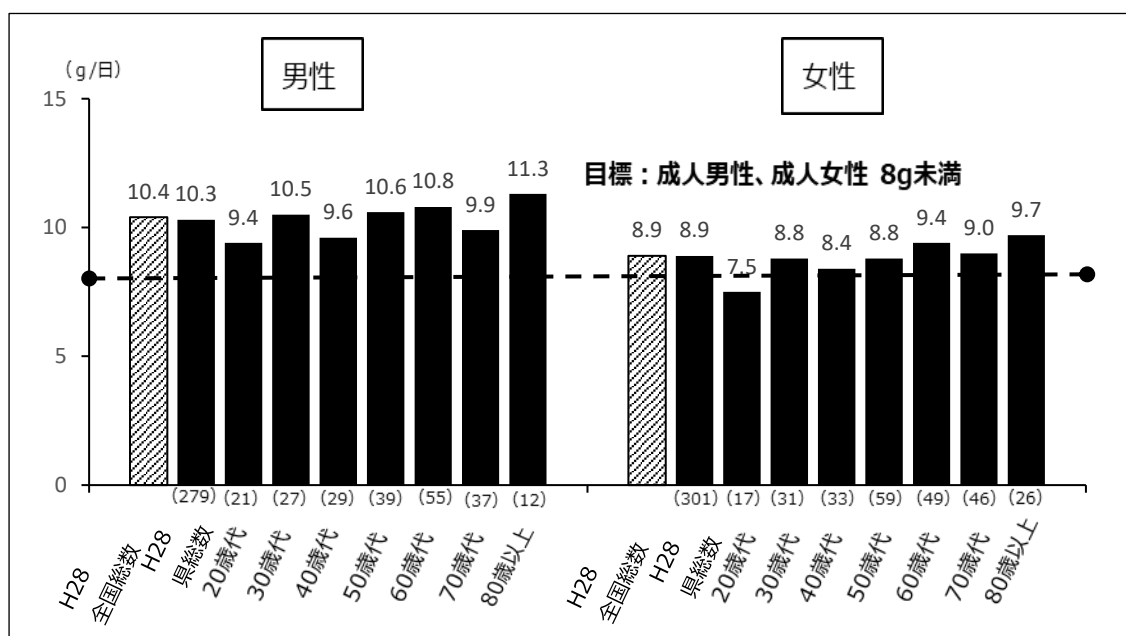
⑤ 食塩摂取について

【図18-1】食塩摂取量の年次推移



出典：平成 28 年度県民栄養調査

【図18-2】食塩の摂取量（平成 28 年度）

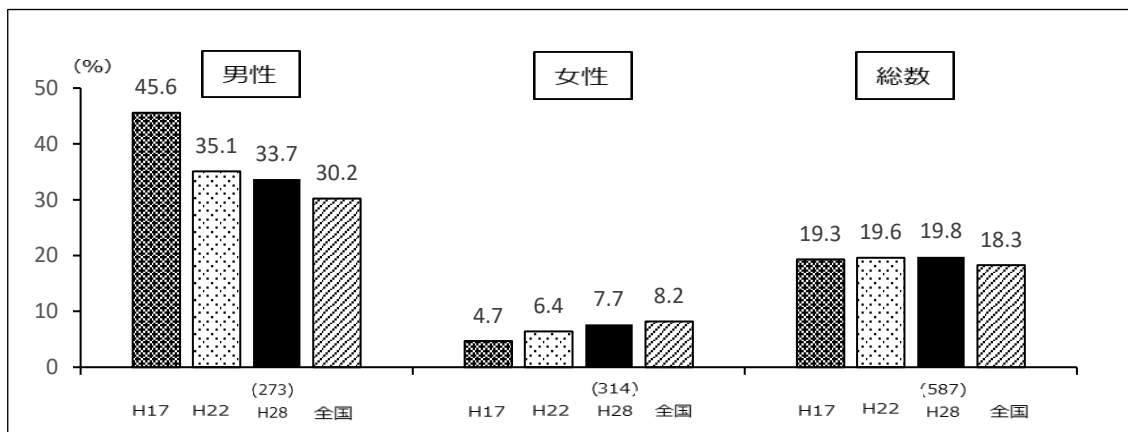


出典：平成 28 年度県民健康栄養調査

⑥ たばこについて

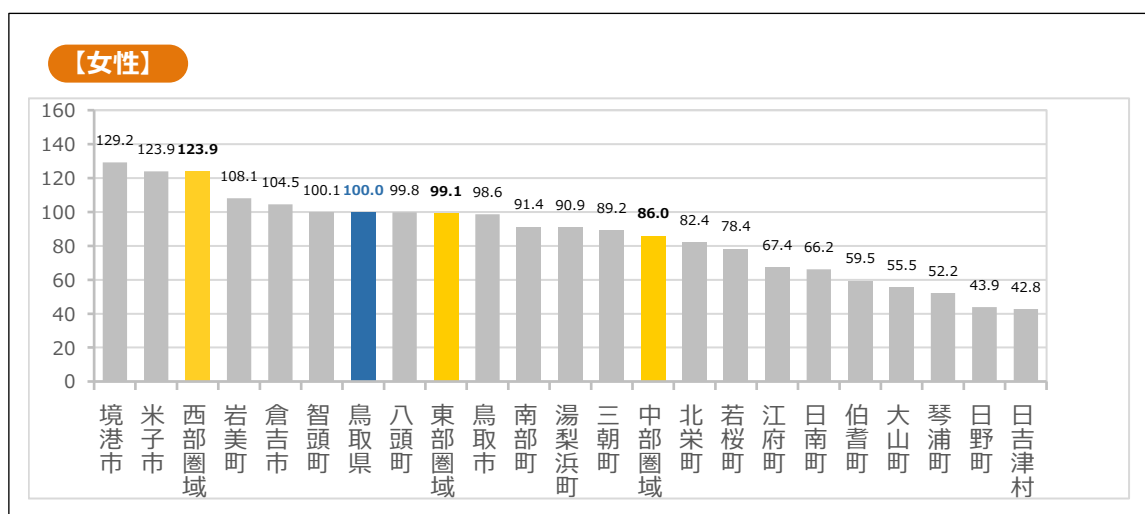
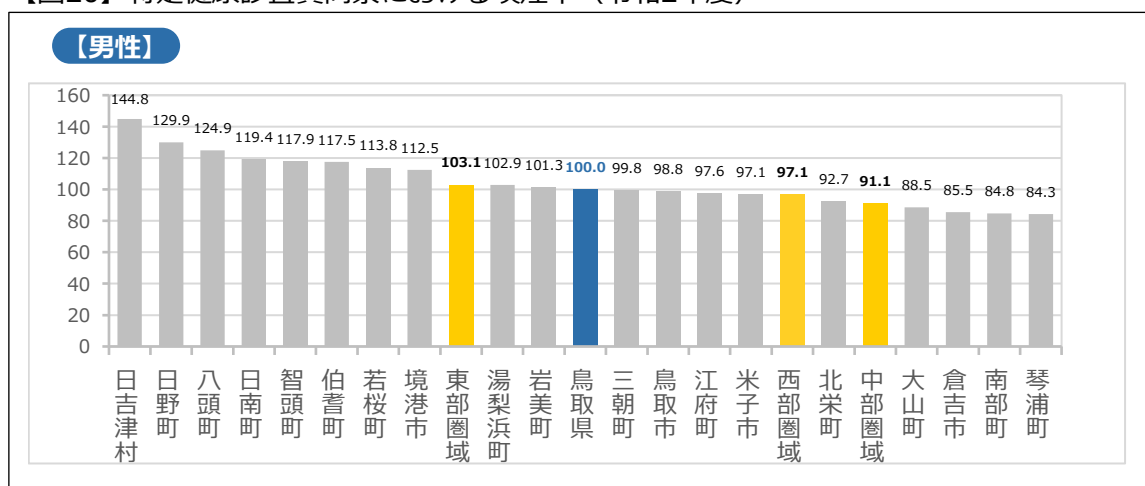
【図19】喫煙率（20歳以上）

＜「この1か月間に、毎日または時々たばこを吸っている」と回答した者の割合＞



出典:平成 28 年度県民栄養調査

【図20】特定健康診査質問票における喫煙率（令和2年度）



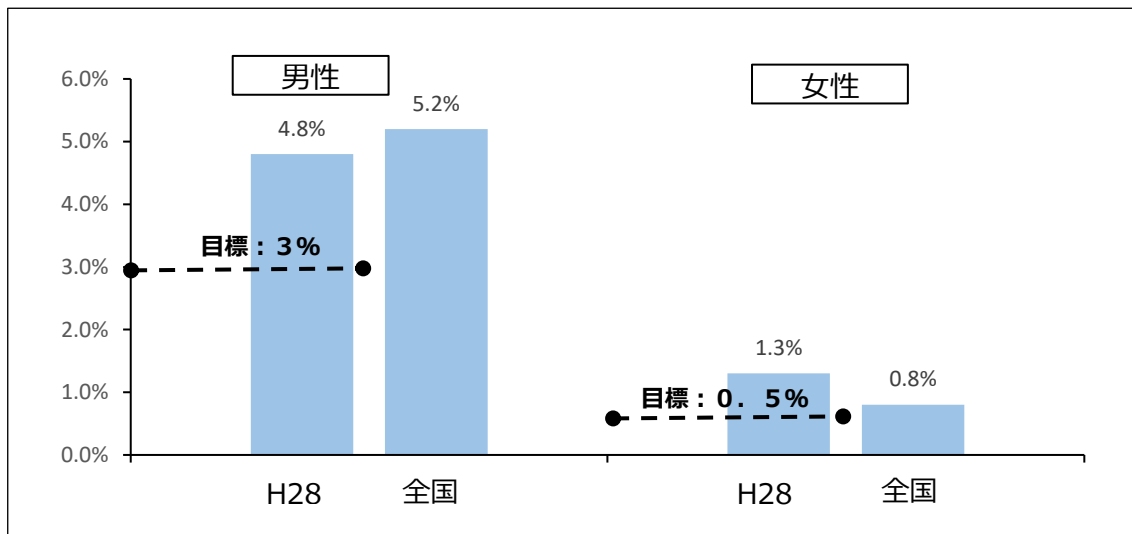
出典:「鳥取県の国保」

⑦ 飲酒について

【図21】 20歳以上の飲酒習慣の全国比較（男女別）

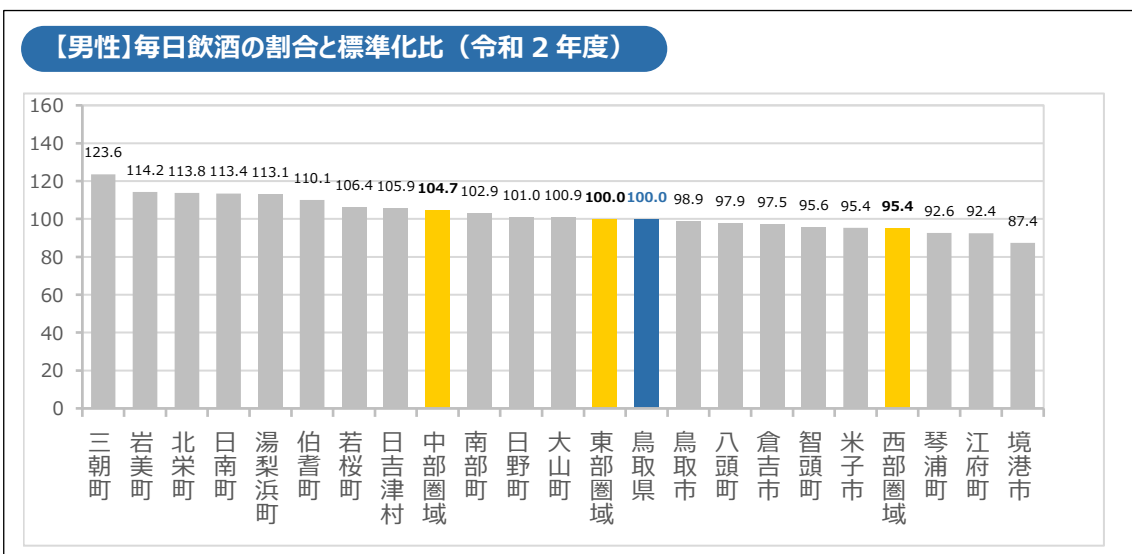
<多量に飲酒する者の割合>

- *「多量に飲酒する者」とは、次のいずれかに該当する者とする。
- ・ 飲酒日1日当たりの飲酒量が5合以上
 - ・ 飲酒日1日当たりの飲酒量が4号以上5合未満で、飲酒の頻度が週5日以上
 - ・ 飲酒日1日当たりの飲酒量が3号以上4号未満で、飲酒の頻度が毎日



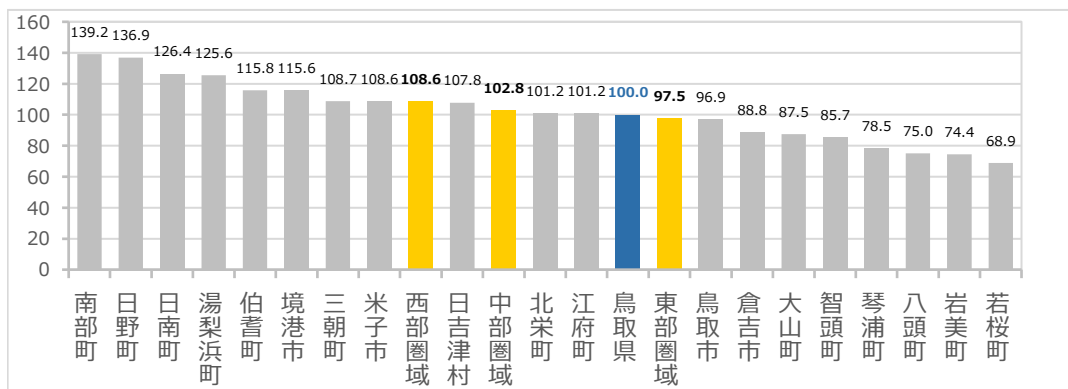
出典:平成 28 年度県民栄養調査

【図22】 特定健康診査質問票による毎日飲酒の割合と標準化比（令和2年度）



出典:「鳥取県の国保」

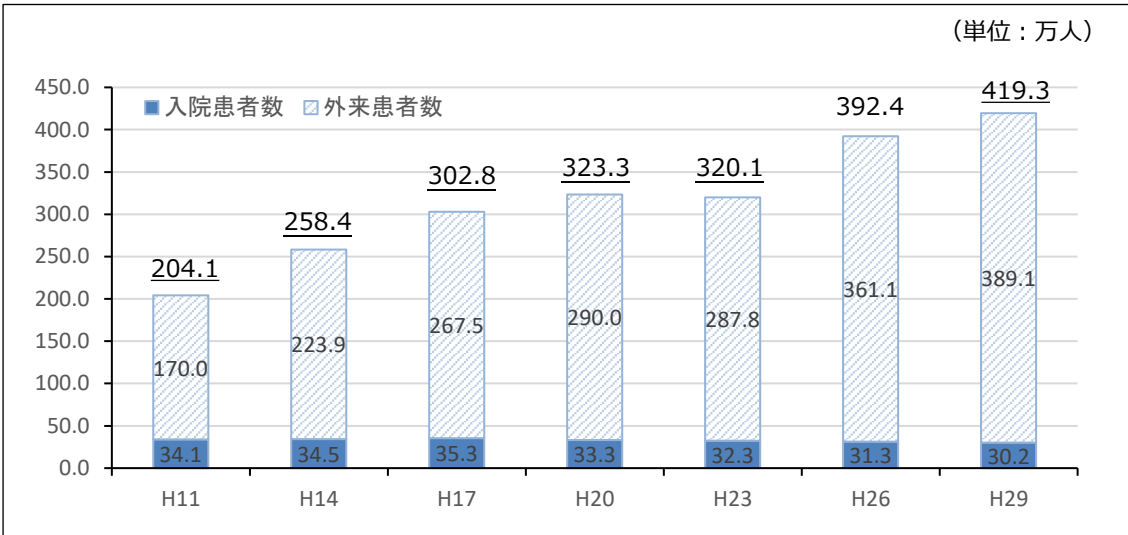
【女性】毎日飲酒の割合と標準化比（令和２年度）



出典：「鳥取県の国保」

⑧ こころの健康について

【図23】精神疾患を有する全国の総患者数の推移



出典：厚生労働省資料「患者調査」を基に作成

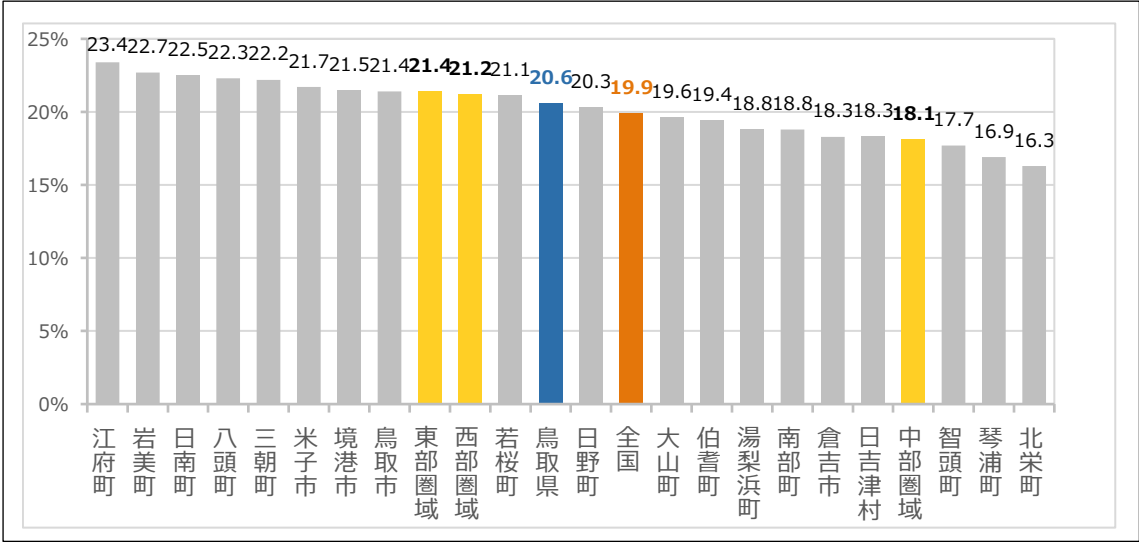
【表3】ストレスを感じた者の割合・睡眠による休養を十分とれていない者の割合の推移

項目		H17	H22	H28
ストレスを感じた者の割合 (直近1か月でストレスがおおいにあったと感じた者)	男性	17.3%	14.9%	19.3%
	女性	21.9%	18.3%	19.6%
睡眠による休養を十分とれていない者の割合		19.9%	22.7%	22.4%

出典：県民健康栄養調査

⑨ 介護について

【図24】鳥取県の市町村別要介護認定率（令和2年度）



出典：「鳥取県の国保」

【表 4】全国における現在の要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（令和元年）

(単位：%)

現在の要介護度	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
総 数	認知症	17.6	脳血管疾患（脳卒中）	16.1	高齢による衰弱	12.8
要支援者	関節疾患	18.9	高齢による衰弱	16.1	骨折・転倒	14.2
要支援 1	関節疾患	20.3	高齢による衰弱	17.9	骨折・転倒	13.5
要支援 2	関節疾患	17.5	骨折・転倒	14.9	高齢による衰弱	14.4
要介護者	認知症	24.3	脳血管疾患（脳卒中）	19.2	骨折・転倒	12.0
要介護 1	認知症	29.8	脳血管疾患（脳卒中）	14.5	高齢による衰弱	13.7
要介護 2	認知症	18.7	脳血管疾患（脳卒中）	17.8	骨折・転倒	13.5
要介護 3	認知症	27.0	脳血管疾患（脳卒中）	24.1	骨折・転倒	12.1
要介護 4	脳血管疾患（脳卒中）	23.6	認知症	20.2	骨折・転倒	15.1
要介護 5	脳血管疾患（脳卒中）	24.7	認知症	24.0	高齢による衰弱	8.9

注：「現在の要介護度」とは、2019（令和元）年6月の要介護度をいう。

出典：国民生活基礎調査

⑩ ロコモティブシンドロームについて

【図25】鳥取県のロコモティブシンドローム原因疾患別（令和元年度）

対象者区分	要介護区分	人数 (人)	総医療費 (百万円)	患者1人あたり 医療費(千円/人)
認知症 発症者	要支援1	13	10	799
	要支援2	0	0	-
	要介護1	18	15	840
	要介護2	22	40	1,821
	要介護3	13	27	2,065
	要介護4	14	34	2,422
	要介護5	19	58	3,052
	計	99	184	1,862
筋骨格系疾患 発症者	要支援1	159	246	1,547
	要支援2	173	309	1,784
	要介護1	77	153	1,988
	要介護2	89	234	2,624
	要介護3	56	180	3,223
	要介護4	46	216	4,688
	要介護5	34	178	5,245
	計	634	1,516	2,390
骨粗鬆症 発症者	要支援1	9	15	1,627
	要支援2	17	23	1,380
	要介護1	7	11	1,590
	要介護2	14	27	1,917
	要介護3	4	3	654
	要介護4	7	15	2,156
	要介護5	1	6	6,201
	計	59	100	1,695

出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」

【表 5】鳥取県のロコモティブシンドローム原因疾患別医療状況（令和元年度）

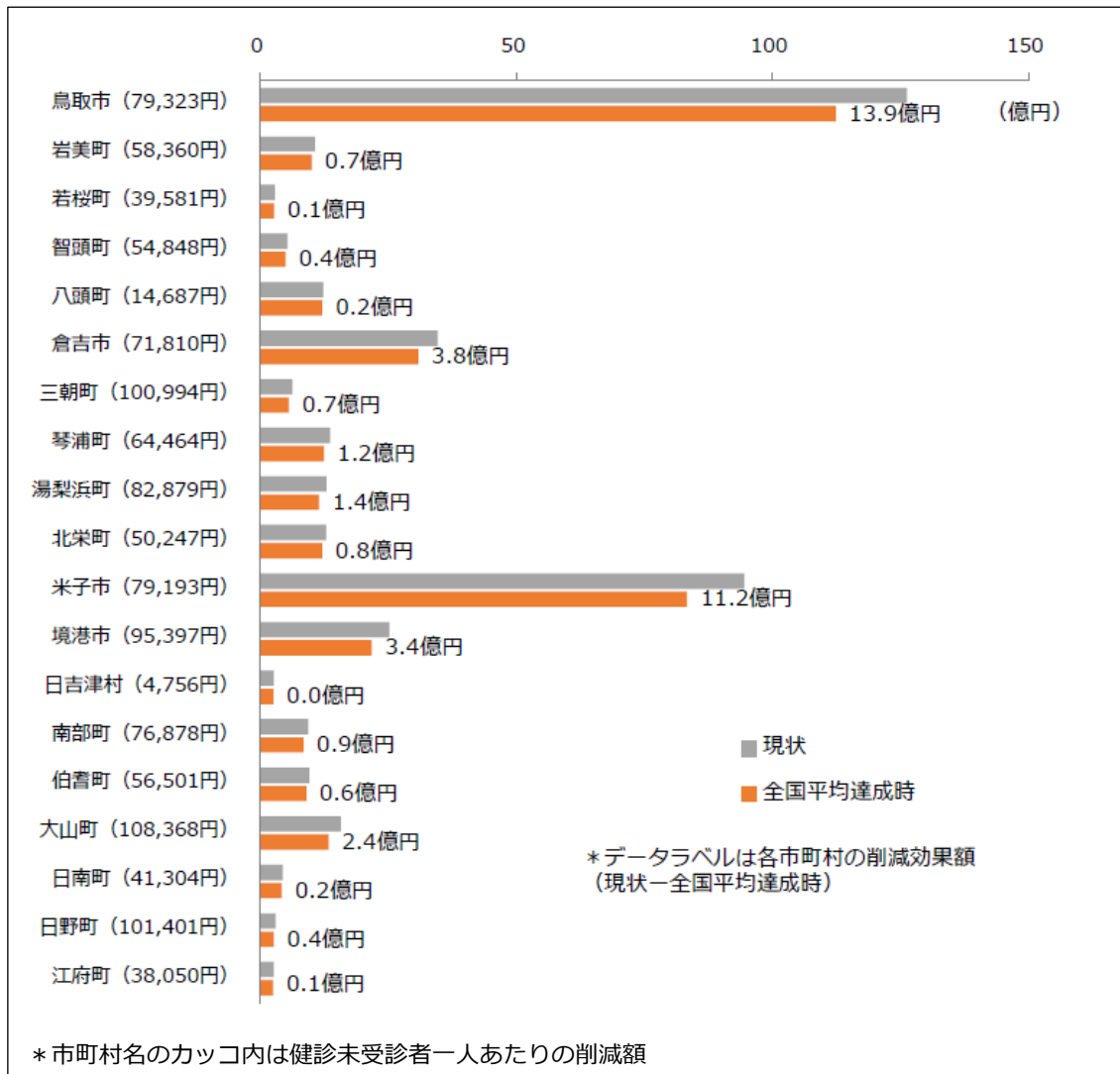
年齢			40歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳	計
要支援・要介護者数			61人	265人	2,224人	2,550人
血管疾患	循環器疾患	脳血管疾患	28人 (45.9%)	123人 (46.4%)	550人 (24.7%)	701人 (27.5%)
		虚血性心疾患	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	16人 (0.7%)	16人 (0.6%)
		腎不全	1人 (1.6%)	6人 (2.3%)	20人 (0.9%)	27人 (1.1%)
	基礎疾患	高血圧	4人 (6.6%)	14人 (5.3%)	91人 (4.1%)	109人 (4.3%)
		糖尿病	1人 (1.6%)	9人 (3.4%)	67人 (3.0%)	77人 (3.0%)
		脂質異常症	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	23人 (1.0%)	24人 (0.9%)
	血管疾患合計		28人 (45.9%)	128人 (48.3%)	613人 (27.6%)	769人 (30.2%)
認知症			0人 (0.0%)	3人 (1.1%)	82人 (3.7%)	85人 (3.3%)
筋骨格系疾患			15人 (24.6%)	32人 (12.1%)	519人 (23.3%)	566人 (22.2%)

出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」

2. 費用対効果分析

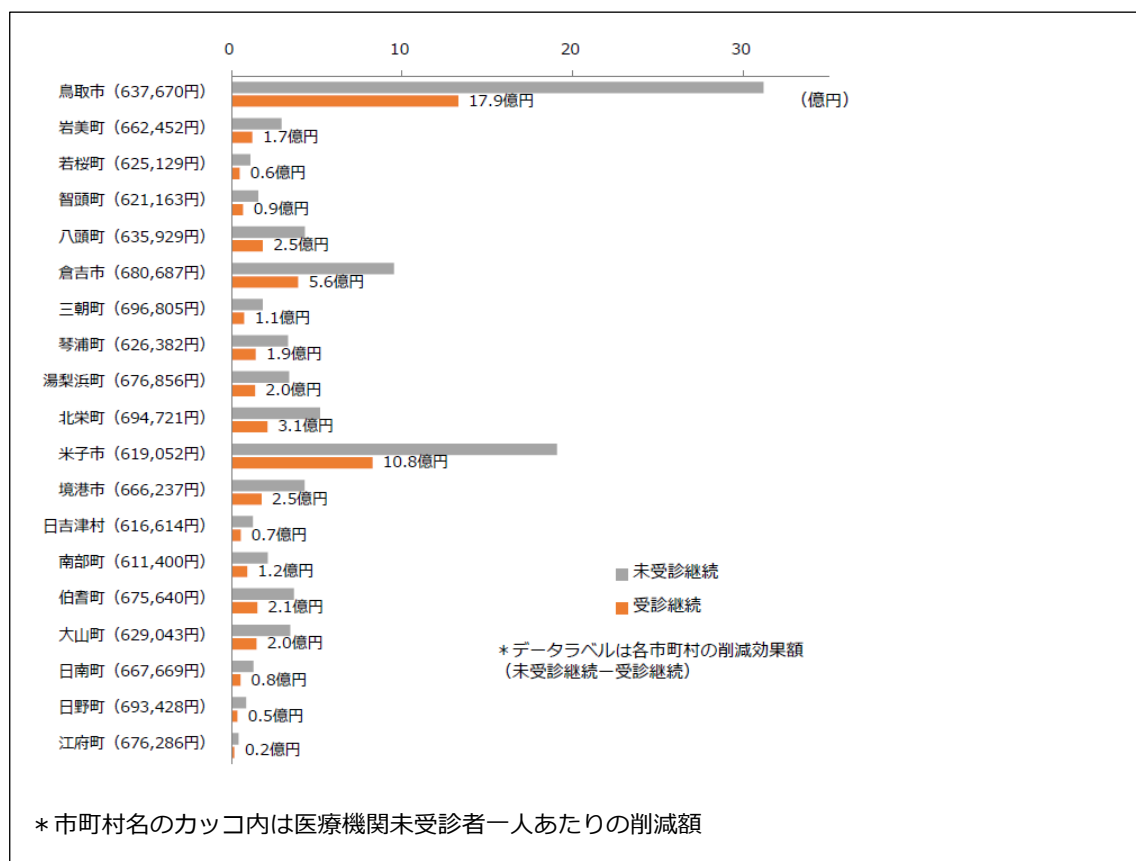
【図26-1】健診受診勧奨の効果分析

* 各市町村の健診受診率が全国平均の54.7%に達した場合の市町村ごとの医療費総額の削減効果を集計。



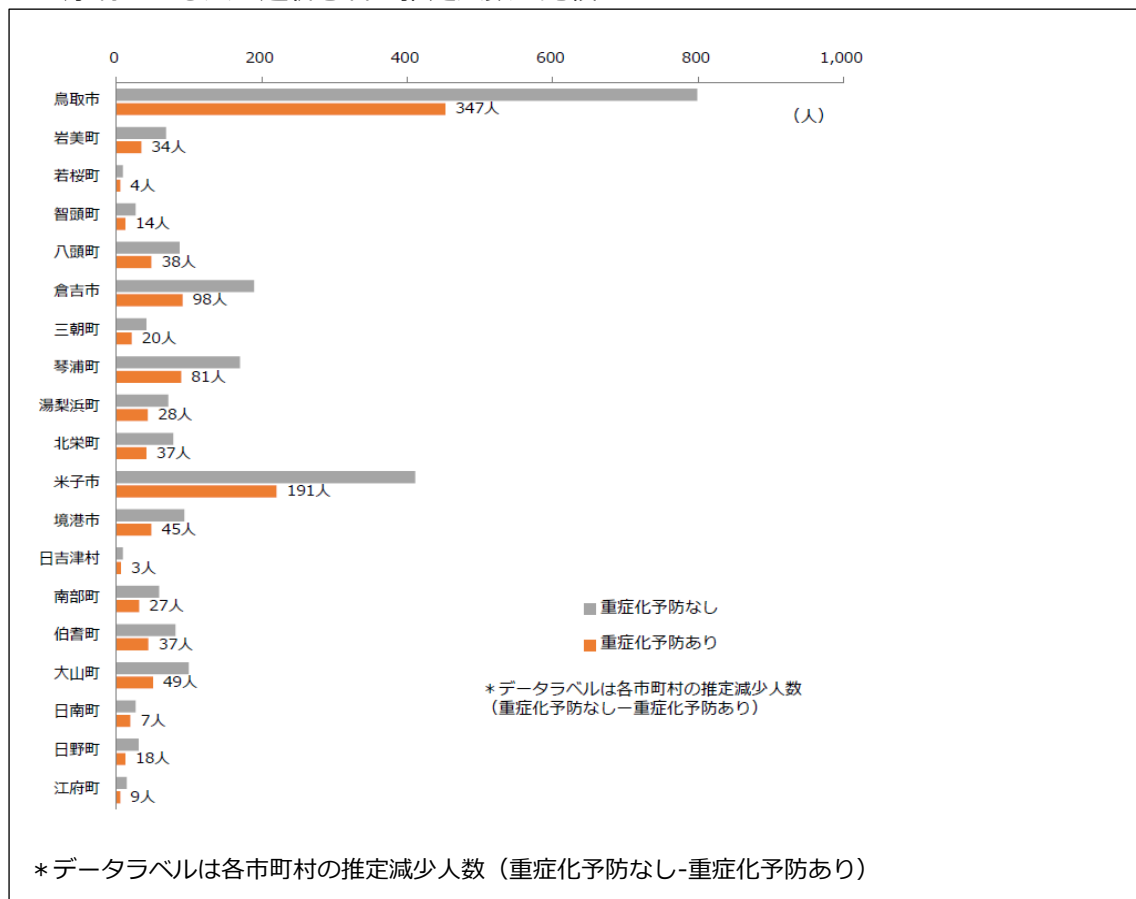
【図26-2】医療機関受診勧奨の効果分析

* 各市町村において2020年時点の生活習慣病放置者の10年後の医療費総額の推定値を全員が受診行動をとった場合と全員が取らなかった場合で比較。



【図26-3】糖尿病重症化予防の効果分析

* 各市町村において糖尿病重症化予防を行った場合と行わなかった場合で、5年後の糖尿病による人工透析患者の推定人数を比較。

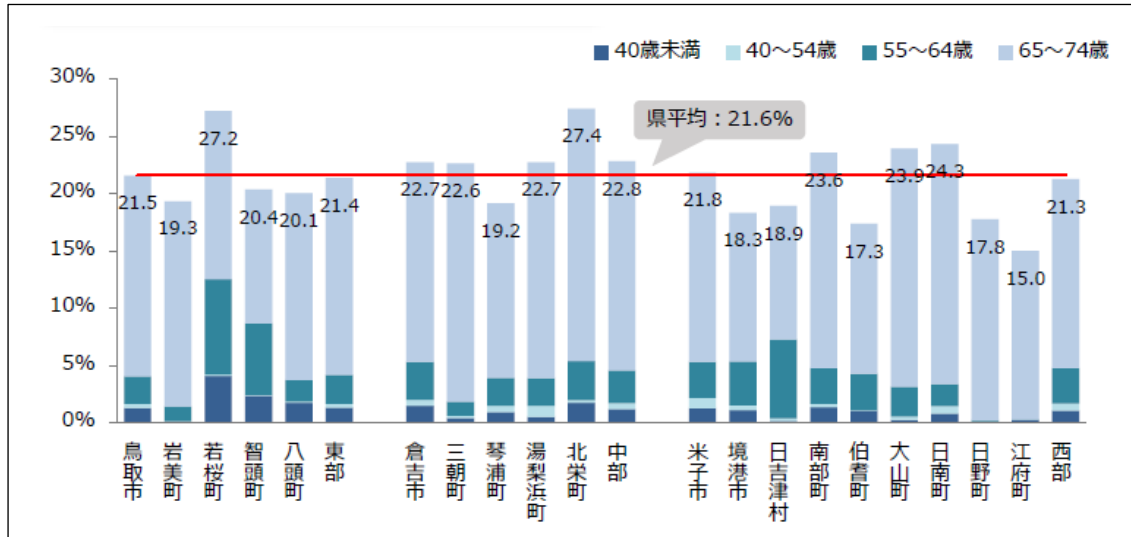


出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」(令和元年度)

3. 疾病別医療費統計分析

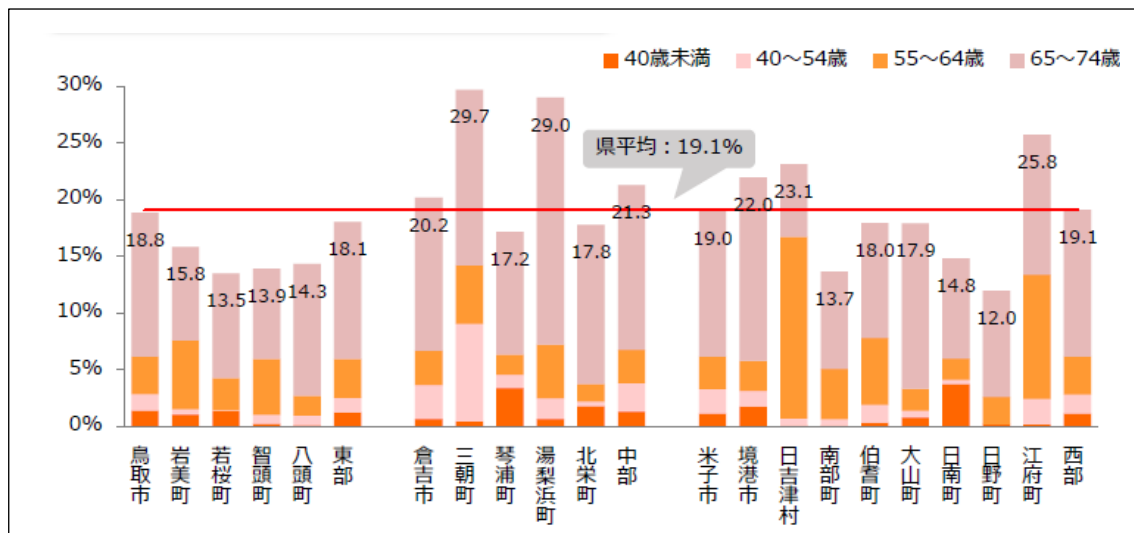
【図27】 疾病大分類別被保険者一人当たり医療費（上位5疾病の市町村別割合）

【男性1位：新生物】



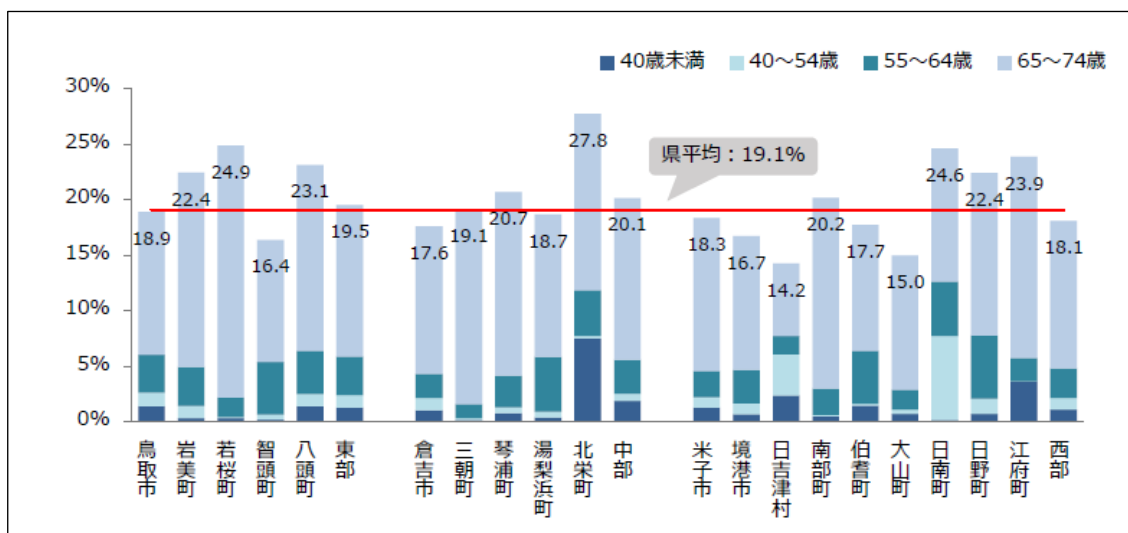
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【女性1位：新生物】



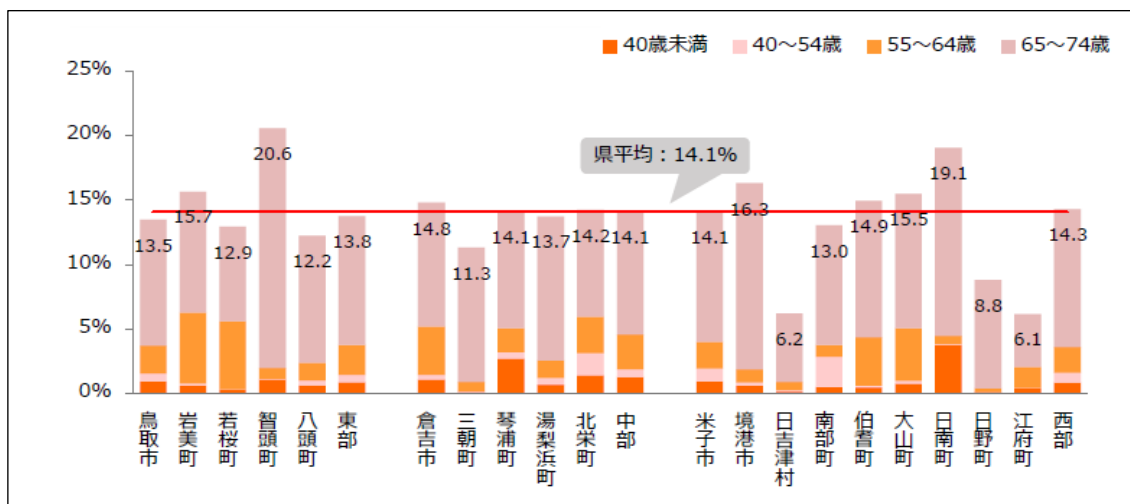
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【男性2位：循環器系の疾患】



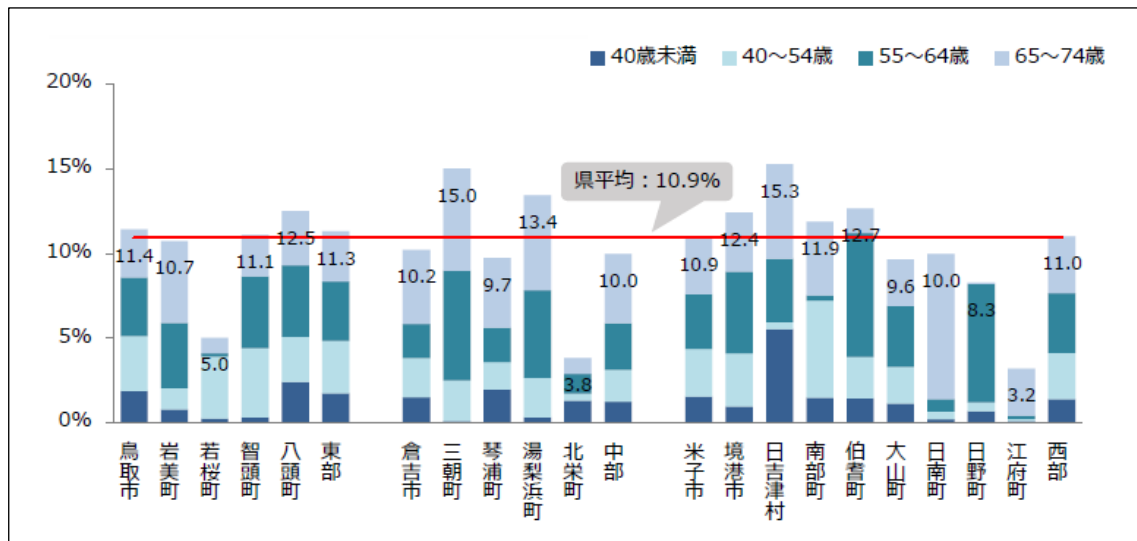
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【女性2位：循環器系の疾患】



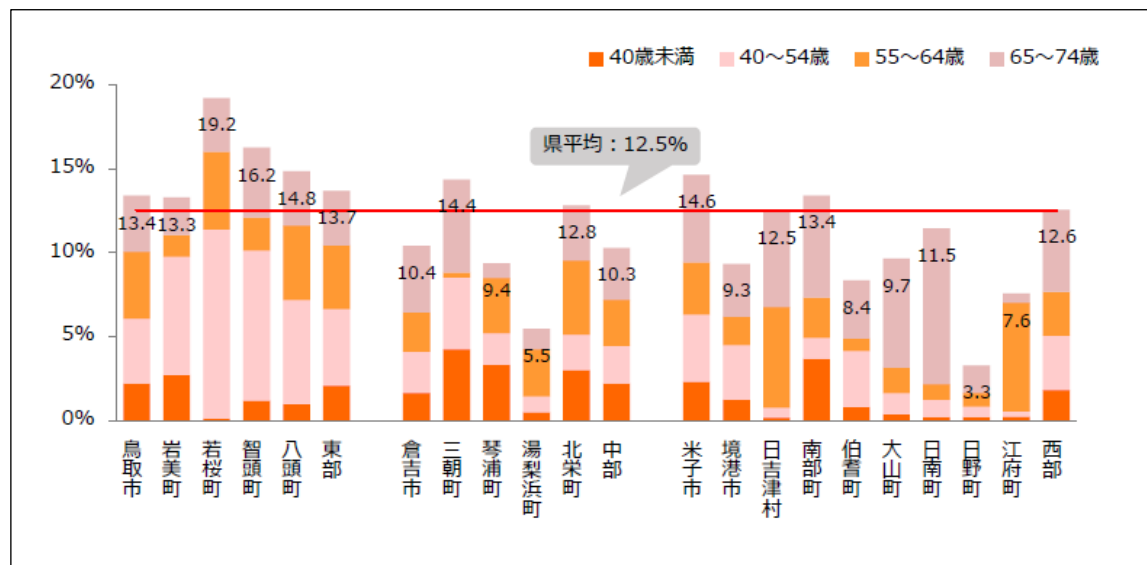
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【男性 3 位：精神及び行動の障害】



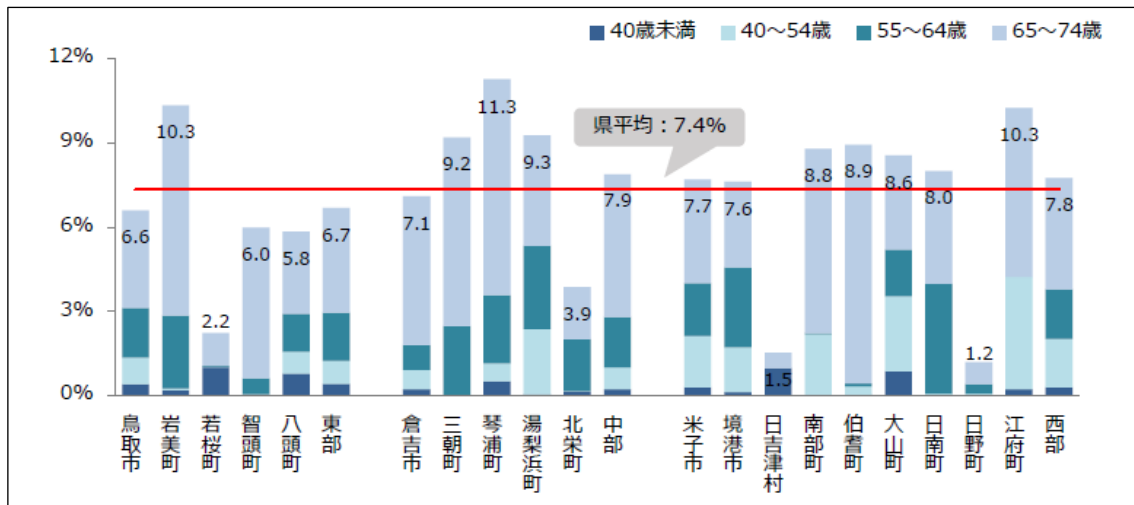
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【女性 3 位：精神及び行動の障害】



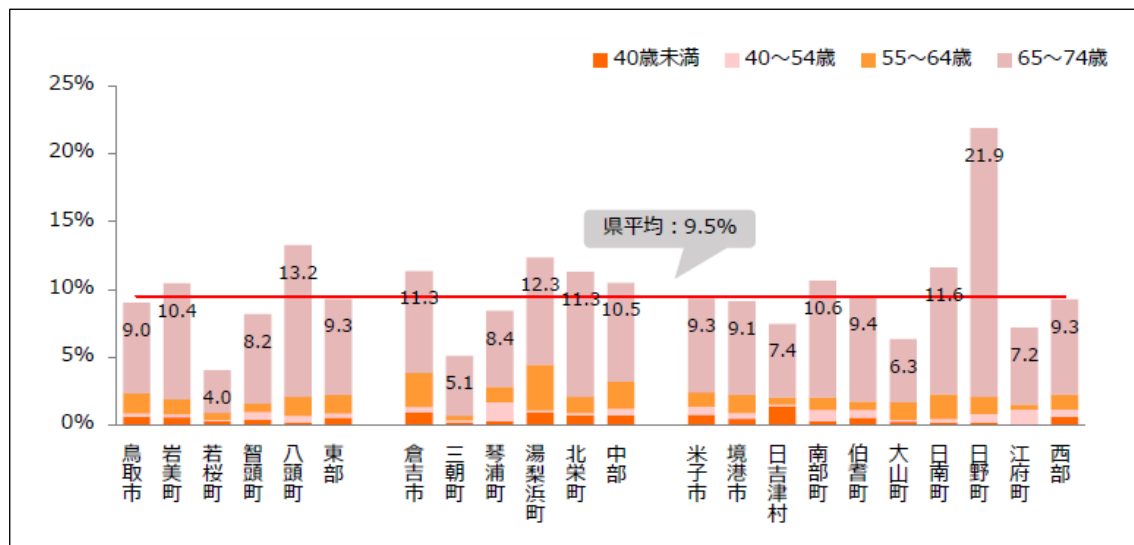
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【男性 4 位：腎尿路生殖器系の疾患】



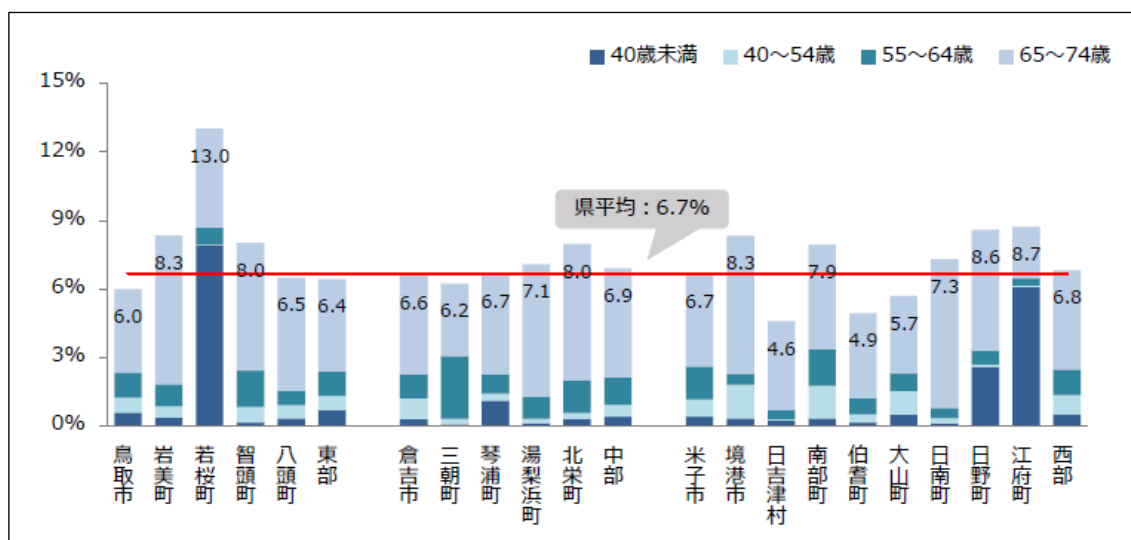
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【女性 4 位：筋骨格系及び結合組織の疾患】



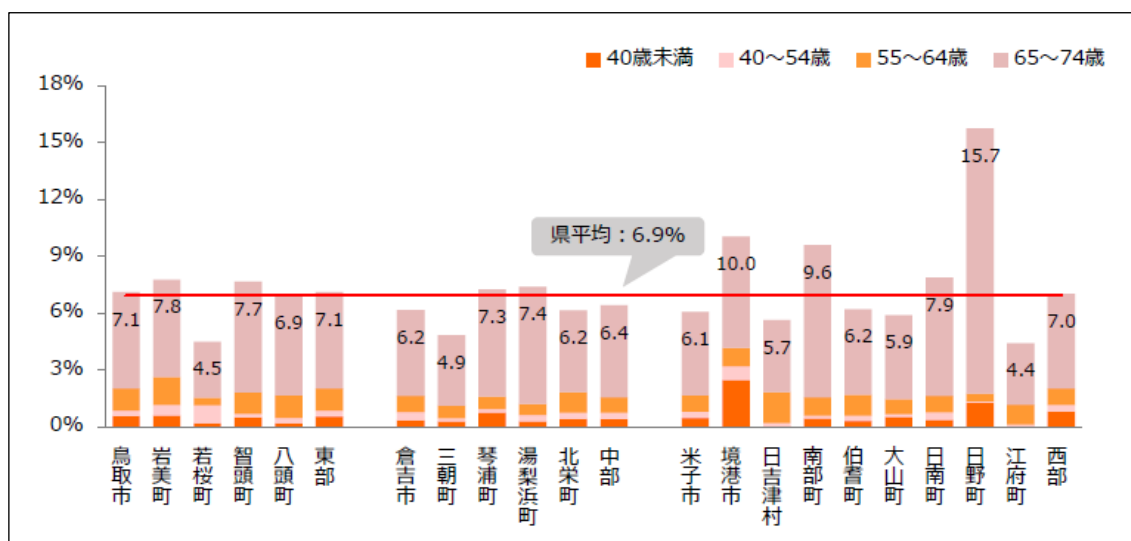
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【男性 5 位：内分泌、栄養及び代謝疾患】



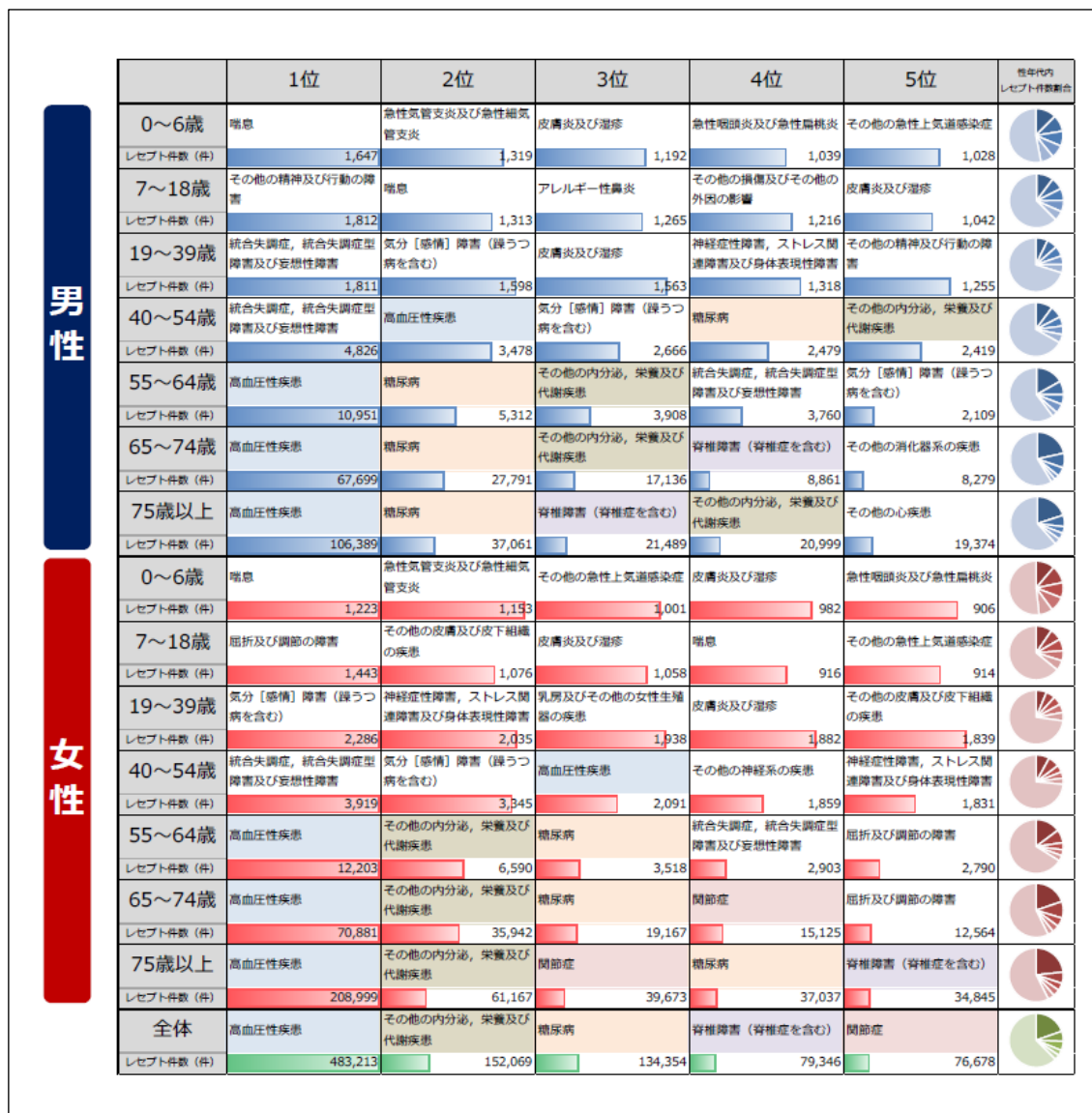
出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【女性 5 位：内分泌、栄養及び代謝疾患】



出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）

【図28】 疾病中分類別の状況～医療費上位5疾病～



出典：日本システム「国民健康保険医療費等分析報告書」（令和元年度）